

若い世代が創る日本、中国の世界 ～友情～

平成25年1月19日
午後6時開場
午後6時半開演
於 東京文化会館 小ホール

故平山郁夫氏とともに北京にて「中日青年音楽家創意音楽会」を開催するなど、これまでも日中文化交流に寄与してきた中国の作曲家である胡銀岳氏とお囃子を専門とする藤舎千穂氏をはじめとする日中音楽家がお届けする音楽の世界。お互いの国を尊敬してやまない若手音楽家たちが、心をこめてお届けする友情の音楽をどうぞお楽しみください。

そして中国からは、世界で活躍する若手中国笛奏者の唐俊喬氏も特別参加決定！友情の輪が広がっています。



唐俊喬

第一部 日本の伝統

「明日への調べ」

囃子 …… 藤舎千穂

藤舎朱音

藤舎清穂

藤舎清幸

山田夏実

西国領君嘉

高瀬理奈

岡崎麻里

鳳聲千晴

杵家七汐

杵家弥七東生

東音南谷舞

三味線…… 杵家弥七東生

中国の伝統

「妝台秋思」

「情酔玉水寨」

「梅花三弄」

中国笛 …… 唐俊喬

箏 …… 毛 Y

Xiao …… 王俊侃



姜小青

第二部

日本と中国の現代

野田暉行 作曲

弦楽四重奏

「ノヴェレット」

韓昕桐 作曲

「HIBIKI」

松下功 作曲

ピアノとヴァイオリンによる

「時の調べに」

郭文景 作曲

三本の笛による「竹枝詞」

演奏者及び指揮

中国笛 …… 唐俊喬

ピアノ …… 轟絵美

ヴァイオリン…… 椿太陽

指揮 …… 増田宏昭

日中友好特別アンサンブル

「狸々意想曲」より

笛 …… 鳳聲千晴

小鼓 …… 山田夏実

小鼓 …… 藤舎清幸

大鼓 …… 藤舎清穂

太鼓 …… 坂東巳之助

特別プログラム

— 日中融合音楽 —

小鼓 …… 藤舎千穂

中国古箏 …… 姜小青



轟絵美/PIANO

轟 絵美

入場料：2,500円（全席自由）

問い合わせ先：

japanchina4126@gmail.com(メール)

主催：日中友好音楽会実行委員会

(株式会社 アウル内)

後援：中国大使館文化部

胡 銀岳 (こ ぎんがく) (作曲) プロフィール



中国浙江省出身。1994年桐朋学園大学音楽学部で留学、1998年同大学研究科作曲専攻を修了。2001年東京学芸大学大学院修士修了。2007年外国人留学生として初めて東京芸術大学大学院の作曲専攻博士号を取得。1998年、国立劇場日本音楽コンクールに入選、2000年度文化庁創作奨励舞台芸術特別賞、第3回国立劇場コンクール優秀作品賞、2002年名古屋文化振興賞を受賞、2004年NHKと毎日新聞主催の日本音楽コンクール交響楽部門に入選、2007年10月上海の国際作曲コンクール鐘鼓獎に入選。

2009年7月から中央音楽学院作曲科副教授。

胡銀岳 2003年以来、日中民間の文化交流に力を注ぎ、毎年日本の芸術家を中国へ招待し、公演や交流が実施され、成功している。その実績が認められ、2008年日中友好協会の平山郁夫氏とともに「中日青年音楽家創意音楽会」の発起人となり、北京オリンピック催事のひとつとして中国国家大劇院において公演が行われ、大きな反響を得た。これまでに作曲を間宮芳生、一柳慧、野田暉行、松下功、吉崎清富、金田潮児、山内雅弘 各氏に師事。

藤舎 千穂(とうしゃ ちほ)プロフィール



六世藤舎呂船、藤舎せい子に師事

東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業

古典演奏会、日本舞踊会を中心に、テレビ、ラジオ、オペラ、ミュージカルなど、ジャンルを問わず幅広く活動。

テレビ番組や演劇の囃子技術指導。

海外演奏の招聘多数。

後進の育成にも力を入れている。

藤舎千穂 囃子「真しほ会」同人。

「千しほ会」「藤舎千穂Presentsお囃子ライブ」主宰。

唐俊喬 (とう しゅんきょう) プロフィール

若い世代の中国笛演奏者。上海民族楽団の笛演奏者。幼い頃から父親に笛を習い、沈陽音楽学院附属中学校にて孔慶山から笛を習う。その後、上海音楽学院にて、笛の大師趙松庭和俞遜發教授から笛の指導を受ける。1996年、優れた成績で上海民族楽団に入り、上海民族楽団の首席笛演奏者になった。また、中国民族楽隊で初めての女性首席演奏者になった。唐俊喬は更に李安(アン・リ)監督の映画『グリーン・ディスティニ』の映画音楽に笛とバウの演奏を担当し、アメリカのアカデミー賞を含む世界18の映画音楽の金賞とグラミー賞に入賞。国際音楽界の注目を集めた。彼女はイギリスロンドンの『バビケン芸術センター』の招きに応じ、世界的有名なチェロ演奏者の馬友友と共に譚盾の作曲した『グリーン・ディスティニ』の協奏曲を演奏し、好評を得た。そして、『グリーン・ディスティニ』の世界巡回コンサートにも参加した。

大阪国際芸術祭、フランス音楽祭、ロンドン『氷上の火』音楽祭、北京国際音楽祭、上海国際芸術祭、『上海の春』国際音楽祭などである。彼女の素敵な演奏は音楽界の人々と観客を魅了し、高く評価されている。中国近代音楽史で最も優秀な笛の演奏者になったと言える。

轟 絵美 (とどろき えみ) プロフィール

3歳よりピアノを始める。桐朋学園子供のための音楽教室、東京音楽大学付属高校を経て、2001年に渡米。University of Texas at Austinにて奨学生としてピアノ演奏科学士課程修了、New York Universityにて奨学生としてピアノ演奏科修士課程修了、在学中にNY大学のピアノ非常勤講師として教鞭をとる。両校のコンチェルトコンペティションで優勝し、各校のオーケストラと協演。また、Artists International AuditionsよりSpecial Presentation Prizeを受賞し、2009年にカーネギーホールにてソロデビューリサイタルを行い、喝采を浴びる。数々のオーディションに合格し、アスペン音楽祭、ブルゴス音楽祭やアメリカにて多数のコンサートシリーズに出演、またアリエ・ヴァルディ、マーティン・キャンニン、セイモア・バーンスタイン、故レナード・ホカンソンら著名なピアニストのマスタークラスで演奏。これまでにピアノを中谷三代子、アントン・ネル、ホセ・ラモン・メンデス、故ダニエル・マーティン、南院紀子、山岸麗子の各氏に、室内楽をミロカルテットに学ぶ。またドイツ・ライプツィヒ国立音楽大学音楽祭にてカール＝ハインツ ケマーリングのマスターコースを修了。日本、スペイン、アメリカ各地にてソリスト、室内楽奏者として精力的に演奏活動を行う。